

『出会いの森』生き物観察プロジェクト

- ☆ 日 時：平成23年11月3日（木） 9：00～15：00
- ☆ 場 所：出会いの森（下関市阿内薫木）
- ☆ 参加者：43人（こども23人・大人20人）
- ☆ 主催者：出会いの森ファンクラブ

1 スケジュール

- 9：00～ 受付
- 9：10～9：30 開会
- 9：30～12：00 森の木々と野鳥の観察、サツマイモの収穫作業
- 12：00～13：00 昼食
- 13：00～14：50 とんぼ池の作業、森のあそび
- 14：50～15：00 閉会

2 活動内容

『出会いの森』で森の木々と野鳥の観察、サツマイモの収穫作業、森の作業（とんぼ池やしいたけの作業）、森のあそびを行った。

○ 開会

出会いの森事務局による開会あいさつと活動の進め方、森での注意事項の説明を受け、森の木々と野鳥観察会講師の笹尾氏を紹介した。

○ 森の木々と野鳥の観察

笹尾氏の指導で、出会いの森を散策しながら気になる樹木と野鳥の姿や声を探した。

「出会いの森」の雑木林には、いろいろな種類の木があり、樹皮が鹿の子のような模様になるカゴノキ、幹が緑のアオキ、匂いを嗅いで名前に納得したヘクソカヅラ、食べると苦いらしいが小さな赤い実が球状に集まった姿が美しいサ

ネカヅラ、湯がいて食べると美味と聞いてそのまま味見をしたムカゴ等、気になる木の説明を受け、嗅覚、視覚、味覚等を使って観察した。

野鳥は多くを観察できなかったが、ウグイスの地鳴きを聴き、ヒヨドリ、シロハラ、シジュウカラ科、ヒタキ科の鳥を観察した。

笹尾氏は、鳥の名前がわかるようになると親しみも湧くし、鳥の暮らし方（渡り鳥か留鳥か、野鳥の生活圏等）、エサの種類や食べ方から環境を知る手掛かりにもなると話された。





○ サツマイモの収穫作業

6月に植え付け、7月末に草取りをした畑でサツマイモの収穫を行った。こども達は、草取りの時には虫がいると大騒ぎだったが、今回は大きなイモに満足の様子で、鍬でイモを傷つけないように注意しながら掘った。傷ついたイモは、昼食時に食べた。



○ とんぼ池の作業

拡張作業中の池に引く水を確保するため、山からの水路を整備した。

こども達は、水路を掘り傾斜がつくように踏み固め、予め埋めておいた溜マスの穴にパイプを通し水路に設置し、水路の上を歩けるように一部を埋め戻した。



作業前



パイプの設置



パイプを設置し埋め戻し作業中



○ 森のあそび

オケラやイモリ、サンショウウオを見つけ、アケビを採取しみんなで味見、木の枝にロープをかけ作ったブランコに乗り、森を堪能した。



上級生が上手くリードし参加したこども達は1つ1つのことに集中して取組み、無事に活動を終えることができました。

主催者は、とんぼ池を拡張したことで、水辺を必要とするカエルやヤゴ、アカハライモリ等の数が増えるのではないかと期待しています。